

Trend Micro Deep Security agent install plugin for Azure CloudServices

Microsoft Azureが提供しているクラウドサービス(CloudServices)に、Trend Micro Deep Securityのエージェントを自動インストールを行い、指定のマネージャーに自動登録を行います。

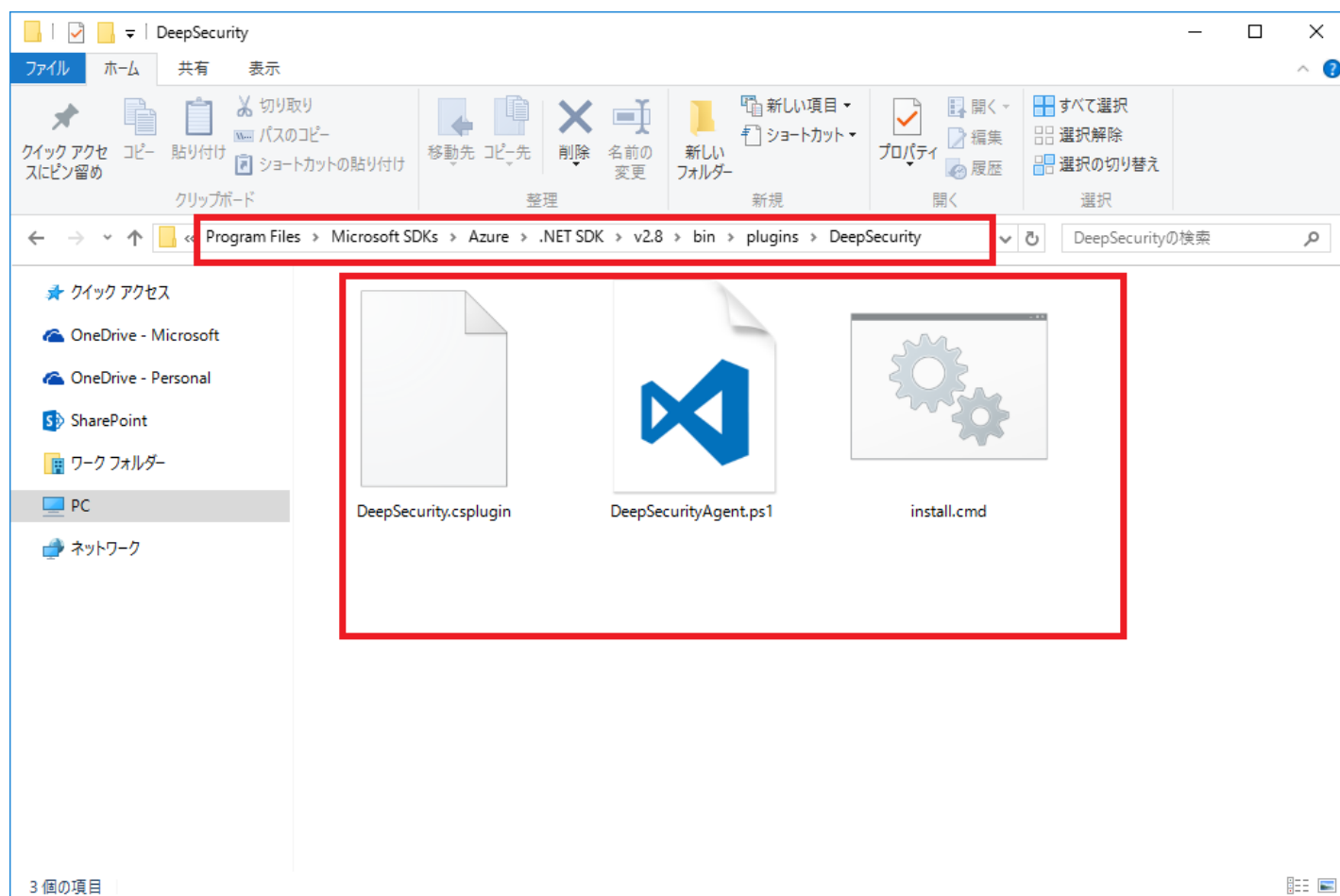
Trend Micro Deep SecurityのSaaSクラウドである、Trend Micro Deep Security as a Serviceで簡単な動作の確認を行っています。

Azure CloudServicesに用いるGuest OSは、PCI DSS に準拠しており、セキュアな運用が可能です。組み合わせる事でより便利な機能を提供できるようになります。Trend Micro Deep Securityは以下の特徴を持つ製品です。

- IDS/IPSによる侵入防御
- ファイアウォールによるフィルタリング
- 不正プログラム対策
- Webレピューテーションによる不正サイト接続のブロック
- ファイルやレジストリの変更監視
- セキュリティログ監視

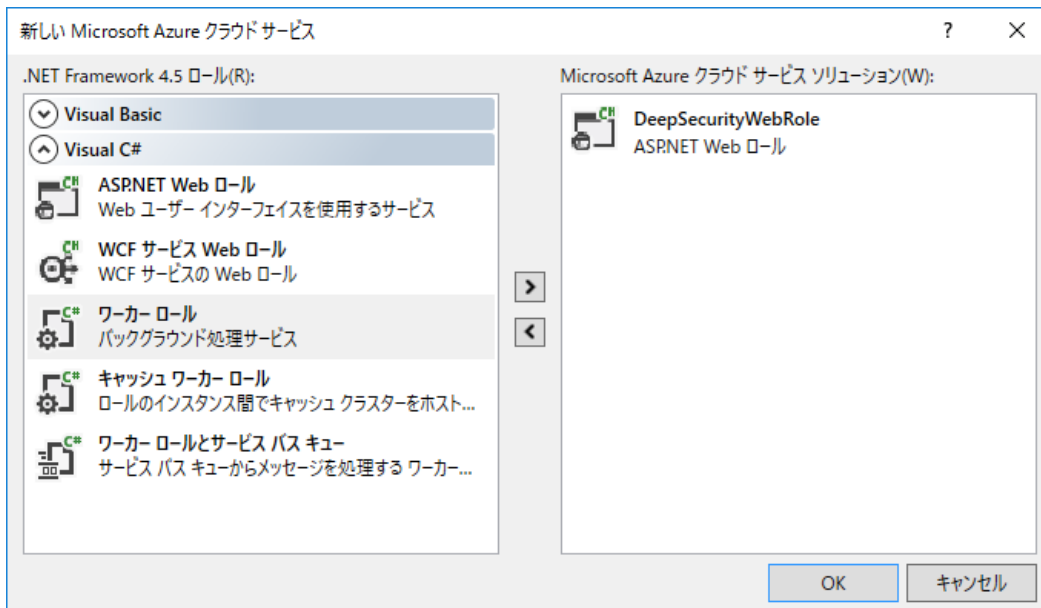
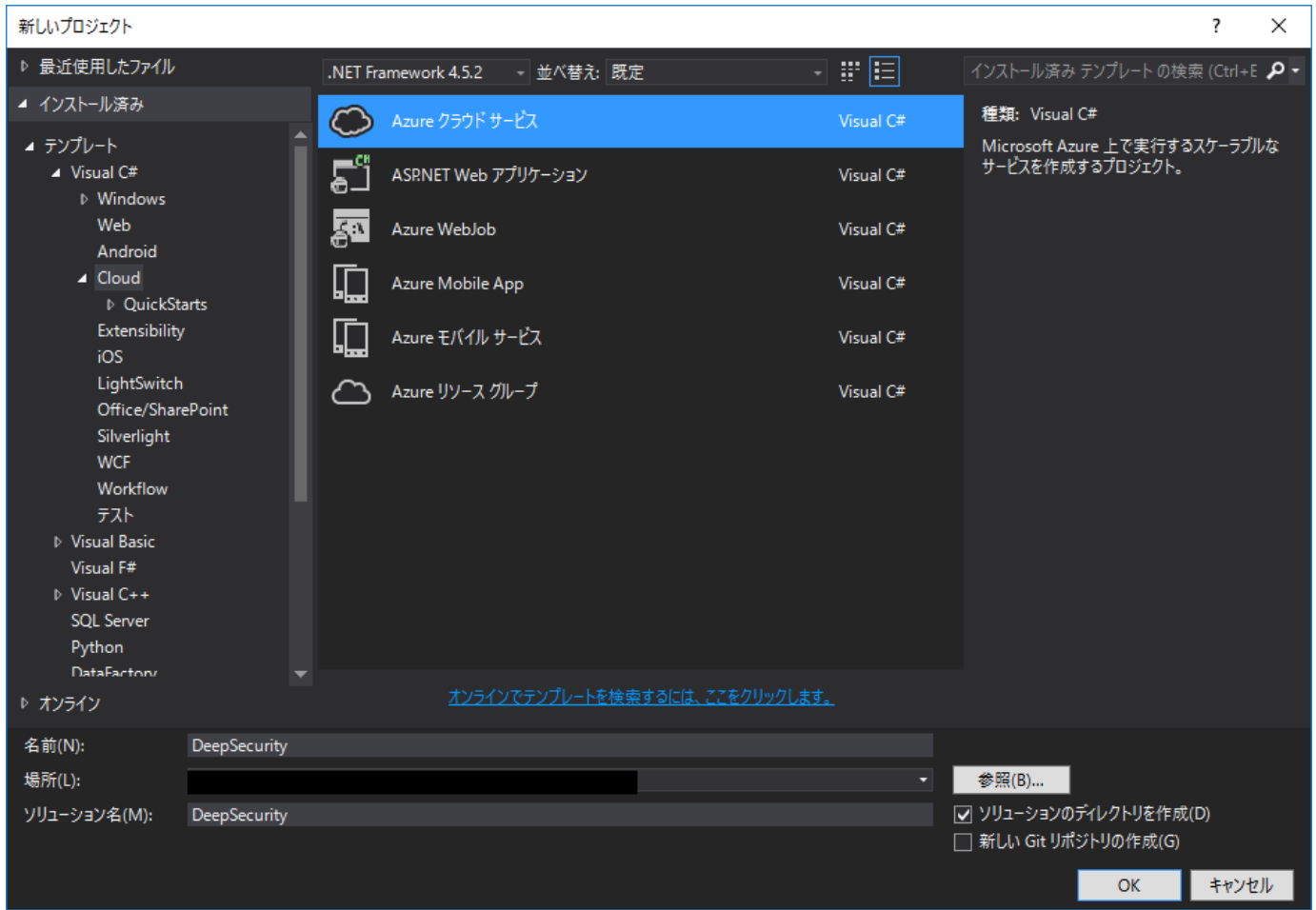
プラグインの準備

1. ダウンロード後ZIPを展開してください。
2. Azure SDK .NETのpluginsディレクトリに配置してください。例えば、Azure SDK 2.8 for .NETでは、以下のディレクトリとなります。
C:\Program Files\Microsoft SDKs\Azure.NET SDK\v2.8\bin\plugins
3. DeepSecurityというフォルダに展開してください。

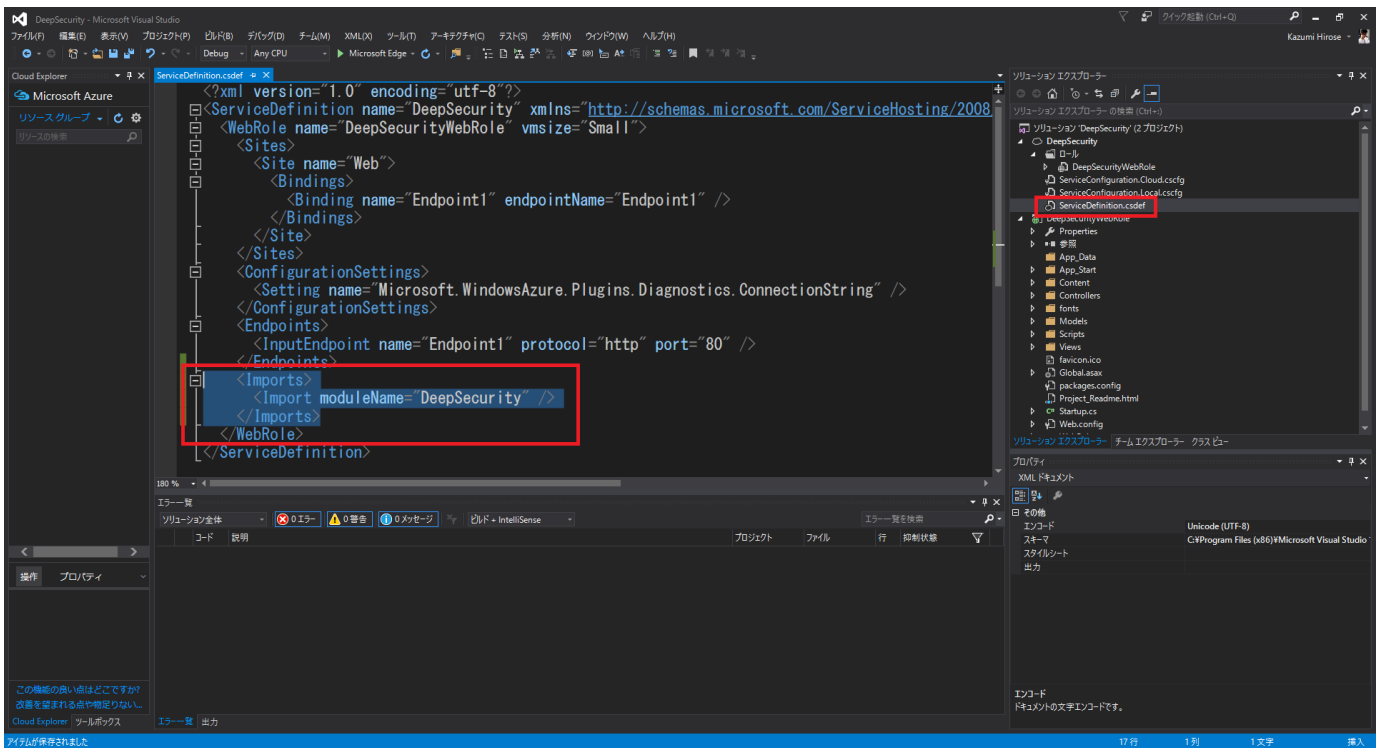


プラグインの使い方

1. Visual Studioから、クラウドサービスのソリューションを作成してください、どのRoleでも対応します。

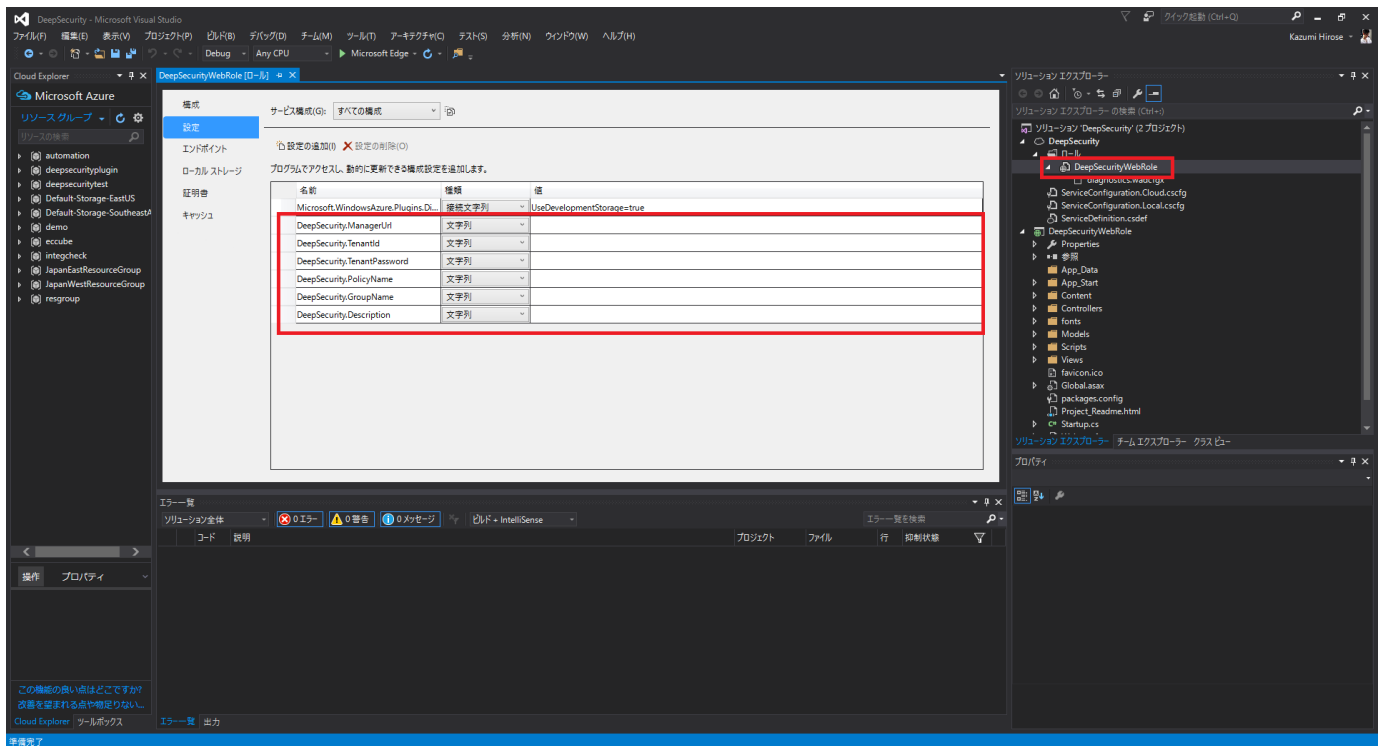


2. ServiceDefinition.csdefにプラグインのimportを追加してください。

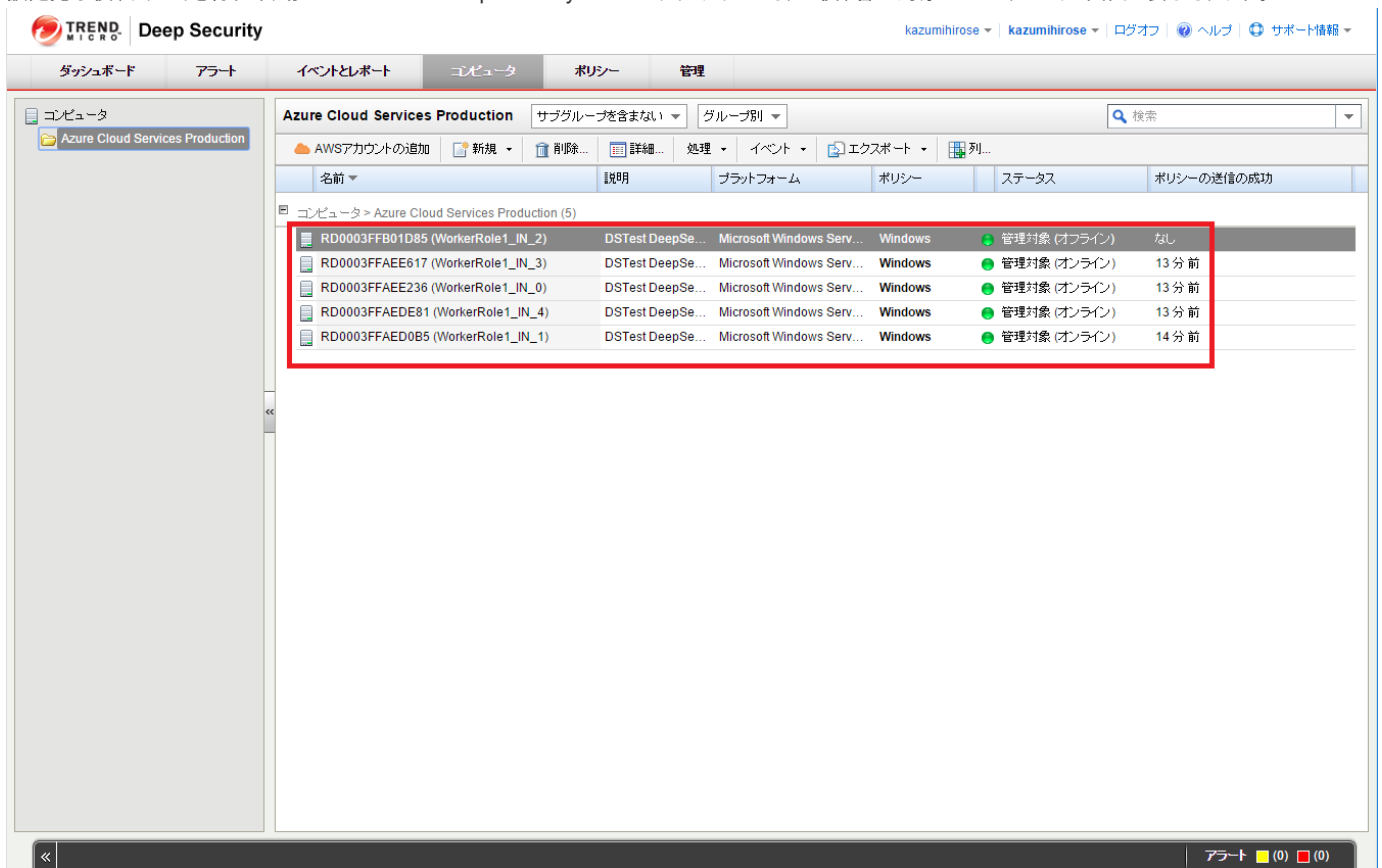


```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<ServiceDefinition name="DeepSecurity" xmlns="http://schemas.microsoft.com/ServiceHosting/2008/10/ServiceDefinition" schemaVersion="1.0" />
<WebRole name="DeepSecurityWebRole" vmSize="Small">
  <Sites>
    <Site name="Web">
      <Bindings>
        <Binding name="Endpoint1" endpointName="Endpoint1" />
      </Bindings>
    </Site>
  </Sites>
  <ConfigurationSettings>
    <Setting name="Microsoft.WindowsAzure.Plugins.Diagnostics.ConnectionString" />
  </ConfigurationSettings>
  <Endpoints>
    <InputEndpoint name="Endpoint1" protocol="http" port="80" />
  </Endpoints>
  <!-- 以下を追記します -->
  <Imports>
    <Import moduleName="DeepSecurity" />
  </Imports>
  <!-- ここまで追記します -->
</WebRole>
</ServiceDefinition>
```

3. 追加した後にロールの構成から設定を開いてください。



- 設定例を参考に設定を行ってください。
- 設定完了後、デプロイを行うと自動でTrend Micro Deep Securityエージェントインストールされた後、管理対象としてマネージャー画面に表示されます。



プラグイン設定の情報取得について

DeepSecurity.ManagerUrl/DeepSecurity.TenantId/DeepSecurity.TenantPasswordなどの情報は、Trend Micro Deep Security as a Serviceにログインした右上のサポート情報/インストールスクリプトから情報を得られます。

インストールスクリプト

RightScale、Chef、Puppet、SSHなどのツールを使用して、Agentを手動でインストールまたは配信できます。

WindowsとLinux以外のプラットフォームについては、インストールガイドを参照してください。

プラットフォーム: Microsoft Windows (64 bit)

☒ インストール後にAgentを自動的に有効化

セキュリティポリシー: Base Policy ▶ Windows

コンピュータグループ: コンピュータ

Relayグループ: プライマリテナントのRelayグループ

備考 Agentからのリモート有効化では、ホスト名、説明、一意のID、およびその他のプロパティも設定できます。詳細については、オンラインヘルプの[コマンドラインの手順ページ](#)を参照してください。

```

powershell>
$env:LogPath = "$env:appdata#Trend Micro#Deep Security Agent#installer"
New-Item -path $env:LogPath -type directory
Start-Transcript -path "$env:LogPath#dsa_deploy.log" -append
echo "$(Get-Date -format T) - DSA download started"

```

閉じる

プラグイン設定の方法

設定項目	説明	設定例
DeepSecurity.ManagerUrl	Deep SecurityのマネージャーURL	dsm://agents.deepsecurity.trendmicro.com:443/
DeepSecurity.TenantId	dsmに登録する際に用いるTenantId	XXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXXXXXXXXXX
DeepSecurity.TenantPassword	dsmに登録する際に用いるTenantPassword	XXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXXXXXXXXXX
DeepSecurity.PolicyName	適用するポリシー名	Windows
DeepSecurity.GroupName	マネージャーのグループ名、無い場合は自動で作られます	Azure cloud Service Production
DeepSecurity.Description	ホスト概要	任意の文字列